

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教 科： 農業 科 目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（A組：橋本、松井、山田 ）

使用教科書：（ 畜産（実教出版）、動物看護学（緑書房） ）

教科 農業 の目標：
【知 識 及 び 技 術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	動物管理（イヌ、ニワトリ） （ネズミ類、ウサギ、モルモット） 動物各論（モルモット） （フェレット） 囲場整備（樹木の剪定①） （除草について） 【知識及び技術】 飼育動物や植物について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	動物管理（イヌ、ニワトリ） （ネズミ類、ウサギ、モルモット） 動物各論（モルモット） （フェレット） 囲場整備（樹木の剪定①） （除草について） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理（イヌ、ニワトリ） （ネズミ類、ウサギ、モルモット） 動物各論（モルモット） （フェレット） 囲場整備（樹木の剪定①） （除草について） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物や植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物や植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物や校内の植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物や植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学 期	動物管理（チンチラ、デグー、小鳥） （ハ虫類、サル） 動物各論（ハムスター） （ウサギ） 囲場整備（樹木の剪定②） （刈払い機使用法） 【知識及び技術】 飼育動物や植物について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	動物管理（チンチラ、デグー、小鳥） （ハ虫類、サル） 動物各論（ハムスター） （ウサギ） 囲場整備（樹木の剪定②） （刈払い機使用法） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理（チンチラ、デグー、小鳥） （ハ虫類、サル） 動物各論（ハムスター） （ウサギ） 囲場整備（樹木の剪定②） （刈払い機使用法） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物や植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物や植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物や校内の植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物や植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1

3 学 期	動物管理（ソウガメ、アヒル） 動物各論（小鳥） 圃場整備（果樹の剪定） 【知識及び技術】 飼育動物や植物について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	動物管理（ソウガメ、アヒル） 動物各論（小鳥） 圃場整備（果樹の剪定） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理（ソウガメ、アヒル） 動物各論（小鳥） 圃場整備（果樹の剪定） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物や植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物や植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物や校内の植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物や植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 農業 科目 農業と環境

教科 科： 農業 科目： 農業と環境 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（A組：高橋 祐一 松井 英美）

使用教科書：（実教出版「農業と環境 新訂版」）

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について、基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①農業と環境を学ぶ 【知】農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けられるようにする。 【態】農業と環境の学び方について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・農業やと環境は人間生活の影響を受け、相互に影響しあう関係にある事を理解させる。 ・農業の学び方に興味関心を持ち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動内容を理解させ、取り組み意欲と態度を身に付けさせる。	【知】農業と環境の学び方、および学校農業クラブについて理解しているとともに、関連する技術を身につけているか。 【態】農業と環境の学び方、および学校農業クラブ活動について、主体的、協働的に取り組んでいるか。 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。				
	②栽培と飼育の基礎 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けられるようにする。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決させる。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組ませる	・作物や家畜の特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について科学的にとらえ、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けさせる。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、課題を整理し解決に向けた具体的な取り組みを考え、レポート等で表現できるようにする。 ・作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する基礎的な知識を身に付けさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。	【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組んでいるか。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学 期	①私たちの暮らしと農業、農村 【知】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付けられるようにする。 【思】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決させる。 【態】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・人間と他の生物との関係、農業の社会的役割と環境、暮らしとの関係について関心を持ち、解決しようとする意欲と態度を身に付けさせる。また、職と農業の現状や動向、課題に関心を持たせ、主体的に学び、探究しようとする意欲と態度を身に付けさせる。 ・人間と他の生物との関係、環境と農業、生活に関する課題の解決を目指し、思考を深めさせ基礎的な技術や知識をもとに合理的に判断し課題や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。	【知】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付けているか。 【思】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できるか。 【態】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいるか。 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。				
	②栽培と飼育の基礎 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けられるようにする。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決させる。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組ませる。	・プロジェクト実施の意義、方法について理解させ、実施に対する興味関心と意欲を持たせる。 ・プロジェクト実施にあたって、計画の立て方、農業生産工程管理、栽培飼育環境の管理と評価について理解させる。 ・環境に関するプロジェクトにおける調査活動やプロジェクトの分野について理解させる。	【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組んでいるか。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1

3 学 期	①私たちの暮らしと農業、農村 【知識及び技術】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付けられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。 ②農業と環境のプロジェクト 【知識及び技術】農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、および方法と進め方を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】プロジェクト学習に主体的、協働的に取り組ませる。	アクアリウム（魚類・水草）グルーミング（イヌのクリッカートレーニング） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	アクアリウム（魚類・水草）グルーミング（イヌのクリッカートレーニング） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 農業 科目 畜産

教 科： 農業 科 目： 畜産 単位数： 2 単位

対象学年組：第 学年 A 組

教科担当者：（A組：才藤佳代、橋本夏奈 ）

使用教科書：（ 実教出版「畜産」 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 畜産 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	動物の生態・生理および動物看護について 【知識及び技能】 イヌの生態や体の構造を学び、イヌに関する知識を身に付けるとともにイヌの血液検査や予防接種を通してイヌの扱い方や保定の方法など動物看護の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な体験を通じて自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 動物の飼育や動物の看護に関する問題に関して自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う	【指導事項】 ・動物の体の構造、健康管理の方法について実践的に身に付けさせる。 ・獣医師や動物看護師による予防接種、血液検査、フィラリア予防の講義及び実習 【教材】 ・図鑑類 ・参考資料等	【知識・技能】 ①イヌの扱い方について適切な方法を実施し、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③イヌの特性や習性について理解し、その行動や変化について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①イヌの生態や行動を理解し、原因や今後の対応について考察している。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①対象動物であるイヌに関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）				
1 学 期	単元「動物の栄養と飼料」 【知識及び技能】 動物の栄養と飼料について理解するとともに、各作物にあった適切な栽培管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物の栄養と飼料に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物の栄養と飼料に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①講義：動物の飼料について 実習：作物の栽培・管理 ②講義：栄養素について 実習：作物の栽培・管理 ③講義：動物の食性・採食パターンについて 実習：作物の栽培・管理 ④講義：ペットフードについて 実習：作物の栽培・管理 ⑤講義：エネルギーについて 実習：作物の栽培・管理 ⑥講義：各ライフステージにおける栄養について 実習：作物の栽培・管理 ⑦講義：嗜好性について 実習：作物の栽培・管理	【知識・技能】 ①各作物に適した栽培管理方法を行うことができる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ③動物の栄養と飼料を理解し、飼料の分類・栄養素について説明することができる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①動物の栄養と飼料を理解するとともに、動物の栄養と飼料の関係を考察し、自分の考えを表現することができる（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	40
	定期考査			○	○		

	動物の生態・生理および動物看護について 【知識及び技能】 イヌの生態や体の構造を学び、イヌに関する知識を身に付けるとともにイヌの血液検査や予防接種を通してイヌの扱い方や保定の方法など動物看護の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な体験を通じて自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 動物の飼育や動物の看護に関する問題に関して自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う	【指導事項】 ・動物の体の構造、健康管理の方法について実践的に身に付けさせる。 ・生殖系系 ・運動器系 ・呼吸器系 ・循環器系 【教材】 ・図鑑類 ・参考資料等	【知識・技能】 ①イヌの扱い方について適切な方法を実施し、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③イヌの特性や習性について理解し、その行動や変化について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①イヌの生態や行動を理解し、原因や今後の対応について考察している。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①対象動物であるイヌに関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）				
2 学 期	単元「動物の栄養と飼料」 【知識及び技能】 動物の栄養と飼料について理解するとともに、各作物にあった適切な栽培管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物の栄養と飼料に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物の栄養と飼料に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 講義：動物の栄養と飼料について 実習：植物の播種および栽培管理 ・動物に与える植物の栽培管理 ・乗用トラクタの構造・運転・耕うん	【知識・技能】 ①各作物に適した栽培管理方法を行うことができる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ③動物の栄養と飼料を理解し、飼料の分類・栄養素について説明することができる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①動物の栄養と飼料を理解するとともに、動物の栄養と飼料の関係性を考察し、自分の考えを表現することができる（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	20
	定期考査			○	○		
3 学 期	単元「動物看護および解剖生理のまとめ」「栄養飼料のまとめ」 【知識及び技能】 農業を畜産業の視点から理解するとともに、各動物にあった適切な知識および飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物の飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物の生態および飼育に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 講義：動物の飼育に関するまとめ ・イヌの取り扱い方、構造、生態、生理 ・動物の消化の仕組みおよび食性について 実習 ・イヌの健康管理(体重測定・体温測定) ・イヌのおやつ作り	【知識・技能】 ①イヌの健康管理に適した飼育管理方法を行い、説明することができる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ③イヌの生理生態を理解し、説明することができる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①イヌの健康管理に適した飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②イヌの生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①イヌ及びその他の動物の飼育管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②イヌ及びその他の動物の飼育管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
				○	○		合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 農業 科目 飼育と環境

教 科： 農業 科 目： 飼育と環境 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：：才藤佳代、高橋祐一、橋本夏奈

使用教科書：（ 文科省「飼育と環境」、実教出版「農業と環境」 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 飼育と環境 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「動物の飼育管理」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①講義：動物飼育の心構え、日常の飼育管理と点検 実習：動物の飼育管理（イ、ブ） ②講義：日常の飼育管理の留意点 実習：動物の飼育管理（フェレット、モモンガ） ③講義：健康状態の把握 実習：動物の飼育管理（ハムスター、マウス） ④講義：動物の飼育管理（温度・湿度・風速）	【知識・技術】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元「動物の飼育管理」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導項目 ③講義：健康状態の把握 実習：動物の飼育管理（ハムスター、マウス） ④講義：栄養と飼料 実習：動物の飼育管理（ニトリ、ウサギ） ⑤講義：動物性飼料 実習：動物の飼育管理（ヨウモリ、インコ） ⑥講義：植物性飼料 実習：動物の飼育管理（フィッシュ、デング） ⑦講義：動物に適する飼育器材 実習：動物の管理方法（ワケモノ、モルモット） ⑧講義：動物の管理方法（ワケモノ、モルモット） ⑨講義：動物の管理方法（ワケモノ、モルモット） ⑩講義：動物の管理方法（ワケモノ、モルモット）	知識・技術 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	34
	単元「産卵鶏の飼育」 【知識及び技術】 農業を畜産業の視点から理解するとともに、各産業動物にあった適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育と環境に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育と環境に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	実習：初生びなの観察 ②講義：ニワトリについて 実習：幼びなの観察 ③講義：採卵鶏の一生 実習：幼びなの観察 ④講義：伝染病について 実習：中びなの観察 ⑤講義：ワクチンについて 実習：中びなの観察 ⑥講義：健康管理について 実習：中びなの観察 ⑦講義：ニワトリの体の構造について 実習：中びなの観察 ⑧講義：採卵鶏の栄養管理・消化の仕組みについて 実習：中びなの観察	【知識・技術】 ①産卵鶏に適した飼育管理方法を行い、説明することができる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ③産卵鶏の生理生態を理解し、説明することができる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①産卵鶏の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②産卵鶏の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①産卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②産卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○		1

	単元「動物の飼育管理」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ⑦講義：動物に適する飼育器材 実習：動物の飼育管理（ケージ、モット）生物因子について（同種動物、異種動物） ⑧講義：飼育器材の消毒 実習：動物の飼育管理（ザル、爬虫類）	【知識・技術】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができる。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	34
3 学期	単元「産卵鶏の飼育」 【知識及び技術】 農業を畜産業の視点から理解するとともに、各産業動物にあった適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育と環境に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育と環境に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ⑨講義：ニワトリの品種について 実習：大びなの観察 ⑩講義：ニワトリの体の構造・骨について 実習：大びなの観察 ⑪講義：品種による成長の違い 実習：大びなの観察 ⑫講義：卵のできる仕組み・構造について 実習：成鶏の観察 ⑬講義：畜産のまとめ	【知識・技術】 ①産卵鶏に適した飼育管理方法を行い、説明することができる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ③産卵鶏の生理生態を理解し、説明することができる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①産卵鶏の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができる。（観察・レポート） ②産卵鶏の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①産卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②産卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	1
定期考査				○	○		合計 105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科 科： 農業 科目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（A組：才藤、松井、山田 ）

使用教科書：（ 畜産（実教出版）、動物看護学（緑書房） ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	アクアリウム（爬虫類） グルーミング（イヌ） 実験基礎（実験器具の扱い） 【知識及び技術】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。】	アクアリウム（爬虫類） グルーミング（イヌ） 実験基礎（実験器具の扱い） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	アクアリウム（爬虫類） グルーミング（イヌ） 実験基礎（実験器具の扱い） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学期	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（小動物） 実験基礎（顕微鏡） 【知識及び技術】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（小動物） 実験基礎（顕微鏡） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（小動物） 実験基礎（顕微鏡） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1

3 学 期	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（イヌのクリッカートレーニング） 実験基礎（土壌生物の観察） 【知識及び技術】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（イヌのクリッカートレーニング） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（イヌのクリッカートレーニング） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 飼育と環境

教 科： 農業 科 目： 飼育と環境 単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（A組：山田 僚太、橋本 夏奈）

使用教科書：（ ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 飼育と環境 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元「動物の飼育管理」、「園場の整備」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①実習：動物の飼育管理（イ、フ、リ）、園場整備（除草等） ②実習：動物の飼育管理（フェレット、モモンガ）、園場整備（飼料作物の収穫等） ③実習：動物の飼育管理（ハムスター、マウス）、園場整備（飼料作物の収穫等） ④実習：動物の飼育管理（サメ、爬虫類）、園場整備（飼料作物の収穫等）	【知識・技術】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	13
2 学 期	単元「動物の飼育管理」、「園場の整備」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①実習：動物の飼育管理（ウサギ、モモンガ）、園場整備（飼料作物の播種） ②実習：動物の飼育管理（ニトリ、インコ）、園場整備（飼料作物の栽培管理等） ③実習：動物の飼育管理（両生類、爬虫類）、園場整備（除草等） ④実習：動物の飼育管理（チンパンジー、デグー）、園場整備（飼料作物の収穫等）	【知識・技術】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	15
3 学 期	単元「動物の飼育管理」、「園場の整備」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①実習：動物の飼育管理（イ、ニトリ）、園場整備（除草等） ②実習：動物の飼育管理（ウサギ、モモンガ）、園場整備（飼料作物の収穫片付け等） ③実習：動物の飼育管理（ハムスター、マウス）、園場整備（土作り等）	【知識・技術】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	7
							合計
							35

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 環境調査

教 科： 農業 科 目： 環境調査 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～

教科担当者：（A組：高橋 祐一 松井 英美）

使用教科書：（ 樹木・草花などの図鑑 水生生物や鳥類の図鑑 自作プリント ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 環境調査 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物観察について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。	生態系の機能や構造に対する課題を発見し、現状の確認および現状について合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	環境調査について安全に配慮した調査方法を検討したり、社会的環境の側面から検討するなどよりよい方法を考え出そうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生物の観察・水中の微生物・水質検査 地球の歴史・人間と環境問題・生態系の構造と機能について 【知識及び技能】 自分自身を取り巻く環境に関する事物・現象に対して意欲的に関り、環境に対する豊かな感受性や探究心を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 様々な自然や現象の中から自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 環境に関する問題に関して自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う	【指導項目】 ①講義：人間の誕生による地球環境の変化 実習：各種調査・観察の留意点を理解させる。生物観察の知識と技術を習得させる。 ②講義：校内の生物とその環境についてのフィールドワーク 実習：水中の微生物の同定方法の知識と技術を習得させる。水質検査の方法や目的を理解させる。 ③講義：日本国内における生態系の遷移。現状の確認及び改善策 実習：水中の微生物の同定方法の知識と技術を習得させる。水質検査の方法や目的を理解させる。	【知識・技能】 ①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
2 学 期	生物の観察、花粉の観察、土中の小動物調査、種の散布、木の葉の実物標本づくり、動物による環境変化 【知識及び技能】 生物観察の知識と技術を習得させる。各種調査・観察の留意点を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な自然や現象の中から自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 動物による環境変化や相互作用について自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う	【指導項目】 ①講義：環境の要素・生物的要素・食物連鎖・ニッチ・植物群落、校内の生物とその環境についてのフィールドワーク 実習：植物・昆虫・野帳・花粉の観察 ②講義：植物による土壌環境の変化、環境変化に伴う生物の適応 実習：植物・昆虫野鳥・の観察 土中小動物の観察、種子の観察・標本制作 ③講義：動物の環境適応の法則 森林海のつながり、海洋の生態系（海岸・珊瑚礁・干潟） 実習：種子の観察、種子の標本製作	【知識・技能】 ①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1

3 学 期	生物の観察、野鳥の内容物調査 生き物プレゼンテーション、環境汚染と生物 【知識及び技能】 自然度を客観的に判断できる能力を習得させる。自然保護に対する知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自然保護に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自然度による環境変化や相互作用について自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく	【指導項目】 ①講義：人間活動が及ぼす環境への影響、校内の生物とその環境についてのフィールドワーク 実習：野鳥観察、昆虫観察 ②講義：土壌、森林、河川、海洋汚染の現状、汚染防止に向けた取り組み 実習：事例による学習	【知識・技能】 ①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。（観察・レポート） ②校内外の生物に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 農業 科目 生物活用

教 科： 農業 科 目： 生物活用 単位数： 2 単位

対象学年組：第 学年 A 組

教科担当者：（A組：才藤佳代、高橋祐一）

使用教科書：（ 農文協「生物活用」、緑書房「動物看護学」）

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 生物活用 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」 栽培実習 動物の飼育管理実習（イヌ・ブタの飼育管理） 【知識及び技能】 飼育動物イヌ、ブタや栽培植物について理解するとともに、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物イヌ、ブタや栽培植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物イヌ、ブタや栽培植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ・動物イヌ、ブタの管理方法、栽培植物の正しい栽培方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	【知識・技能】 ①それぞれの動物イヌ、ブタや栽培植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物イヌ、ブタや栽培植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物イヌ、ブタや栽培植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物イヌ、ブタや栽培植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物イヌ、ブタや栽培植物の生態やそれらを取り巻く環境やそれらを取り巻く環境				
	単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」 動物の飼育管理実習（ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチの飼育管理） 【知識及び技能】 飼育動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマについて理解するとともに、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマに関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ・動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチの管理方法、栽培植物ヘチマの正しい栽培方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等 ・ICT端末を活用	【知識・技能】 ①それぞれの動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマに適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマの特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマに関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物ヘチマの生態やそれらを取り巻く環境	○	○	○	30
	定期考査			○	○		

2 学 期	単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」 園芸作物の栽培と活用 ヘチマの栽培（誘引と整枝） 動物の飼育管理実習（モルモット、ウサギ） 飼育動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマについて理解するとともに、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマに関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ・動物モルモット、ウサギの管理方法、栽培植物ヘチマの正しい栽培方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等 ・ICT端末を活用	【知識・技能】 ①それぞれの動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマに適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマの特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマに関心を持ち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物モルモット、ウサギや栽培植物ヘチマの生態やそれらを取り巻く環境に興味関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。				
	単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」 園芸作物の栽培と活用 ヘチマの栽培（収穫と圃場整備） 動物の飼育管理実習（サル、フクロモモンガ） 飼育動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマについて理解するとともに、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマに関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」 園芸作物の栽培と活用 ヘチマの活用（中抜き、乾燥） 動物の飼育管理実習（ネズミ、ハムスター、チンチラ） 飼育動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマについて理解するとともに、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマに関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ・動物サル、モモンガの管理方法、栽培植物ヘチマの正しい栽培、収穫方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等 ・ICT端末を活用 【指導事項】 ・動物ネズミ、ハムスター、チンチラの管理方法、栽培植物ヘチマの収穫後の活用方法を実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等 ・ICT端末を活用	【知識・技能】 ①それぞれの動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマに適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマの特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマに関心を持ち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマの生態やそれらを取り巻く環境に興味関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。 【知識・技能】 ①それぞれの動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマに適した収穫後の作業を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマの特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマに関心を持ち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマの生態やそれらを取り巻く環境に興味関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		

3 学 期	単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」 園芸作物の栽培と活用 ヘチマの活用（加工、塗装） 動物の飼育管理実習（爬虫類） 飼育動物爬虫類や栽培植物ヘチマについて理解するとともに、飼育管理及び栽培活用技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物爬虫類や栽培植物ヘチマに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物爬虫類や栽培植物ヘチマに関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ・動物爬虫類の管理方法、栽培植物ヘチマの収穫後の活用方法を実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等 ・ICT端末を活用	【知識・技能】 ①それぞれの動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマに適した収穫後の作業を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。 道具の扱い方を説明できる。 ③動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマの特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマに関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマの生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
							合計 70

70

定期考査			○	○		1
						合計
						70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 飼育と環境

教科：農業

科目：飼育と環境

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～

教科担当者：（A組：高橋 祐一 松井 英美）

使用教科書：（実教出版「飼育と環境 新訂版」）

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 飼育と環境

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	飼育と環境に対する課題を発見し、動物由来感染症について合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	飼育と環境について農業生物の飼育や管理に応用できるように自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元「動物の飼育管理」 【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①講義：動物飼育の心構え、日常の飼育管理と点検 実習：動物の飼育管理（豚、ブタ）気候因子について（温度・湿度・風速） ②講義：日常の飼育管理の留意点 実習：動物の飼育管理（フェレット、モモンガ）気候因子について（温度・湿度・風速） ③講義：健康状態の把握 実習：動物の飼育管理（ハムスター、マウス）気候因子について（温度・湿度・風速）	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができる。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができていく。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	「動物の飼育管理」 「ウイルスによる動物由来感染症」 【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①講義：狂犬病や鳥インフルエンザなどの基本的な感染症の種類について 実習：動物の飼育管理 ②講義：狂犬病や鳥インフルエンザなどの感染症の予防や治療について 実習：動物の飼育管理 ③講義：狂犬病や鳥インフルエンザなどの感染症の予防や治療について 実習：動物の飼育管理	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができる。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができていく。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	「動物の飼育管理」 「細菌・真菌による動物由来感染症」 【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①講義：オウム病やサルモネラ菌など、身近な感染症について 治療や予防について 実習：動物の飼育管理 ②講義：真菌・細菌による感染症の種類、特徴、対策について 実習：動物の飼育管理	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

教 科： 農業

科 目： 農業と情報

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（高橋 祐一 柴田 健太郎）

使用教科書：（ 農業と情報【実教出版】 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 農業と情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	私たちの生活と農業の情報化 【知識及び技能】 情報の特徴と性質を理解するとともに、メディアリテラシーを身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報化社会の課題を発見し、モラルを守る心構えを身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 農業の情報化に必要な技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①情報化社会における私たちの生活 ②情報とメディア ③情報化とモラル ④農業を支える情報 単元テスト ・教材：教科書	【知識・技能】 情報の特徴と性質を理解し、メディアリテラシーを身に付けている。 【思考・判断・表現】 情報化社会の課題を発見し、モラルを守る心構えを身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業の情報化に必要な技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
	社会を支えるコンピュータ 【知識及び技能】 コンピュータの概要を理解するとともに情報社会の育成と情報管理の重要性を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 インターネット検索の課題を発見し、データや情報の種類とその表現方法を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①コンピュータの仕組み ②データや情報の表現 ③情報通信ネットワーク ④インターネットの仕組み ⑤情報セキュリティ 単元テスト ・教材：教科書	【知識・技能】 コンピュータの概要を理解し、情報社会の育成と情報管理の重要性を身に付けている。 【思考・判断・表現】 インターネット検索の課題を発見し、データや情報の種類とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	27
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①情報表現のためのソフトウェア ②文書の作成と表現 単元実技テスト ・教材：教科書・副教材 パソコン室端末	【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
	定期考査			○	○		1
2 学 期	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ③データの集計と視覚化 ④プレゼンテーション ⑤問題解決の方法 単元実技テスト ・教材：教科書・副教材 パソコン室端末	【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
	スマート農業への展望 【知識及び技能】 A I やロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 データの重要性や農業情報システムの役割を理解するとともに、本校気象センサの活用方法を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①スマート農業の目指す将来 ②計測と制御 ③リモートセンシングとG I S ④人工知能 単元テスト ・教材：教科書・パソコン室端末	【知識・技能】 A I やロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 データの重要性や農業情報システムの役割を理解するとともに、本校気象センサの活用方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1

3 学 期	農業学習と情報活用 【知識及び技能】 農業学習の特徴について理解するとともに、プロジェクトの発表過程で情報活用能力を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 プロジェクト学習の課題を発見し科学的根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 プロジェクト学習の進め方を理解し自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①農業学習とプロジェクト学習 ②プロジェクト発表 ・教材：教科書・パソコン室端末	【知識・技能】 農業学習の特徴について理解するとともに、プロジェクトの発表過程で情報活用能力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 プロジェクト学習の課題を発見し科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習の進め方を理解し自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計 70